

大正中学校 校長 小西です。いつもありがとうございます。

学校から見える葛城山では、紅葉が進んでいます。秋が深まり、冬支度が少しずつ始まるころです。朝晩を中心に、気温もグッと下がってきました。お身体を大切にしてください。

第6回WAYプロを10月26日(水)に開催し、9名の参加者がありました。

今回は、1年生で予定している道徳の授業について討議し、その中で、改めて、道徳教育やWAYプロ(WAYプロジェクト)について、共通理解を図る機会となりました。

本校では、道徳の学習内容のひとつに、『『対話(考え議論する)』し、自他の考えを多面的・多角的に交流しあうことを通じて、生き方についての視野を広げ深めること』を掲げています。これは、「特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない」といった答申を踏まえ、発達の段階に応じ、答えがひとつではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」・「議論する道徳」へと、国が転換を図ったことなども基となっています。そして、その上で、WAYプロは、「大正中学校の子どもたちの道徳教育を、みんなで考える自主勉強会(WAY=人の道)」としました。

引き続き、今回、再確認したことを踏まえ、子どもの実態や家庭・地域の現状など、目の前の現実に向き合い、道徳の授業づくりについて、検討していきたいと思えます。

次回は、新型コロナウイルス感染状況などを確認しながら、11月16日(水)に開催する予定です。